

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8年 3月 25日

事業所名：西部療育センター分園すてっぷ南庄

保護者等数（児童数）75

回収数 67

割合 89 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	59	8	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	67	0	0	0		
	3-1 生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注 i】になっていると思いますか。	61	4	0	2	・イラストなど目で見 て分かるようにするの が、家でもとつても役 に立っています。	ありがとうございます。 トイレや手洗い場にイラ ストを貼り、視覚的に分 かりやすくしています。
	3-2 障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	59	3	2	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	63	4	0	0		
適切 な支 援の 提供	5 契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注 ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	62	3	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	64	3	0	0		
	7 お子さんのごことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注 iii】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。	66	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注 iv】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	63	3	0	1		
	9 「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）に沿った支援が行われていると思いますか。	62	4	0	1	・目標に応じて、服の 着脱スペースを作って くれたりと対応があり がたかったです。	ありがとうございます。 個々の支援計画に沿って 丁寧な支援を行っています。
	10 園の「活動プログラム」【注 v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	62	1	0	3		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。	55	7	2	3	まだ 2 回目の参加のた め分からない。	殆どのお子さんが幼稚 園・保育園との並行通園 のため、事業所としての 企画は行っていません が、園外散歩等で交流の 機会があります。

保護者への説明等	12	契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	65	1	0	1		
	13	「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	67	0	0	0		
	14	園では、家族に対して家族支援プログラム（「ペアレント・トレーニング」【注vi】等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	65	2	0	0		
	15	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	59	6	0	1	・次に通える施設を提案してくれたり、情報を教えてもらって助かりました。	ありがとうございます。今後も次年度の情報や、子どもたちの様子について詳しくお伝えできるようにします。
	16	定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	63	3	0	0		
	17	園の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。	64	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	52	6	0	8		
	19	お子さんや家族からの相談や申入れについて、「対応の体制が整備」【注vii】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	60	4	0	2		
	20	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	61	4	0	1		
	21	定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。	50	7	1	7		
22	個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。	63	2	0	1			
非常時の対応	23	園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	51	3	0	12		
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	39	4	0	21		
	25	お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	60	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思いますか。	55	3	0	8		

満足度	27	お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回喜んで通っています。 ・すてっぶでしたことを兄に楽しそうに話しています。園の先生にも言っているみたいです。 ・口では言うものの暴れて拒否したりは無く、結果的には通園してくれています。 ・「今日リスの保育園行くの！？やったー！！」と毎回喜んでいます。 ・「昨日」「今日」「明日」の意味がまだ理解できていなかったのに、楽しみにしているすてっぶだから「明日はすてっぶ」で明日を覚えてくれました。 	<p>ありがとうございます。</p> <p>今後も通園することが楽しみな施設となるよう努めてまいります。</p>
	28	お子さんは安心感をもって通所されていますか。	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・母子分離の後（夏休み明け）から、親が離れて過ごすことに不安を感じているようです。（すてっぶでのみ） ・親が離席しても全然平気そうです。 ・不安で泣き出すまではありませんが、恐らく安心はしていないと感じます。 	<p>ご意見ありがとうございます。分離等についてはお子さんの状況を確認しながら慎重に進め、お子さんが安心して通所できるよう取り組んでまいります。ご不安な点がありましたら職員までお知らせください。</p>
	29	（総合的にみて）事業所の支援（サービス）に満足されていますか。	満足している	やや満足している	どちらともいえない	不満である	わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・良くも悪くも少し丁寧すぎるかなと感じました。 	<p>ご意見ありがとうございます。支援計画に沿って丁寧に対応していますが、疑問に感じられることがございましたら職員までお尋ねください。今後も、より良い支援を行い、満足していただけるよう努めてまいります。</p>

（注釈）

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたでの使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所で何をしたらいいかをわかりやすくする工夫です。
- ii 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
- iii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。
- iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。移行支援とは、あなたのお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
- v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達の課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
- vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすればいいかが決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をすることだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。

西部療育センター分園 すてっぷ南庄

事業所における自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準に基づいた施設となっています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○		配置基準に基づいた職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	○		トイレ、手洗い場、個々のロッカー等にイラストを貼り、視覚的に分かりやすくしています。利用の対象は、歩行可能な子どもですが、入口の段差は低く、スムーズに移動できています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	○		遊具類は適切に収納し、整理された保育室となっています。活動に合わせて、その都度机やイスを準備する等、環境の整備を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		必要に応じて保育室の前室や相談室を利用し、個別の対応をしています。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		年間計画を立て、職員間で年間の反省を行い、次年度の業務に活かしています。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		年に一回、アンケートを実施し、個々の意見を参考に業務改善を図っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		職員間で話し合う場を設け意見を出し合い、業務改善を図っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価については、現在行っていませんが、苦情解決に関する事項については、第三者委員を設置し業務改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保しているか	○		西部療育センターで実施している研修の他、事業所内での研修や、OJT、外部の研修にも参加しています。
	11	適切に年間カリキュラムが作成、公表されているか	○		年間カリキュラムを作成し、契約の際に保護者に説明し、配布しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		「お子さまの状況」を基に、個々の聞き取りを充分に行い、作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際は、児童発達管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		職員間で意見を出し合い、個々に合わせた児童発達支援計画になるよう検討を重ねています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		職員間で支援計画の内容を共有し、個々に合わせた支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		発達検査や、日々の個人記録を使用し、確認をしています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別面談での聞き取り、通園時の子どもの姿を基に、児童発達支援ガイドラインを踏まえた支援の項目、支援内容の設定を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員全員で話し合って立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年間を通して、季節の行事等も取り入れながら、様々な活動や経験ができるようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	○		少人数のグループ活動が主ですが、自由遊び時等は個々のお子さんに応じた個別活動を取り入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援しているか	○		毎日の朝礼の中で、一日の流れや役割の確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		日々の振り返り時に気付いた点を職員間で話し、情報の共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録に細かく記入し、日々の支援に繋げています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		半期に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		利用計画はセルフプランで行い、西部療育センターとの密な連携を図っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか	○		西部療育センターを中心に連携を取っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）東都の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて、療育見学の受け入れや電話相談を行うことで、関係機関（幼・保）との情報の共有を行い記録に残しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		3歳児を主に受け入れている為、現在は行っていません。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか			
30	（自立支援）協議会子ども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか				

		(31は、事業所のみ回答)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	○		西部療育センターと密に連携を図っています。年に数回OJTを実施し、助言を受けています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のないこどもと活動する機会があるか	○		殆どの子が、幼稚園、保育園との並行通園のため企画はしていませんが、地域の公園等への園外散歩の際には、他園の子どもたちと交流する機会があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		面談時の他、単独グループは送迎時やグループ懇談時、親子グループは活動の振り返り時に話をしています。
保護者への説明責任等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		年間、数度の学習会（令和7年度は3回）やワークショップを実施しています。また、西部療育センターやゆうゆうセンターの講座についても案内しています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始にあたり、運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書と利用契約書の説明をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		児童発達支援計画作成の際は、必ず個別面談を行い、保護者の意向を確認しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援計画を提示しながら支援内容の説明を丁寧に行い、同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別面談の他、随時相談に応じています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		父母の会はありませんが、グループ懇談や学習会、ワークショップ等を開催することで、保護者間の交流の機会となっています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		西部療育センターと連携し、速やかに対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○		定期的におたよりを発行したり、必要な情報はコドモンにてお知らせしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		個人情報取扱規定、マニュアルに基づき、対応に留意しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもの特性に応じて、絵カード等の視覚的な手がかりを活用することや、簡潔なことばかけ等、情報伝達の配慮をしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		実施できていませんが、地域の店舗等との触れ合い等の取り組みを企画しています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを整備しています。契約時に説明し、保護者の閲覧も可能です。火災、地震等の訓練も、子どもたちと共に実施しています。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		BCPを策定し、定期的に避難訓練を実施し、職員の動きの確認をしています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		セルフプラン作成の際の西部療育センターでの聞き取りを基に、契約時に再度確認をしています。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に医師の指示書を提出してもらい、詳細の確認をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		安全計画に基づいた安全対策の下で支援を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○		契約時、以降もおたよりや懇談時に災害時の避難先や、感染症対策等についての話をしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	○		有事の際は、職員への聞き取り、業務日誌やヒヤリハット事例集への記入等をし、情報共有、再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		西部療育センターの虐待防止・身体拘束適正化委員会及び職場内研修へ参加しています。また、事業所の運営が閉鎖的にならないよう、西部療育センターとの定期的な連絡会も実施しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		事故の防止、緊急時等を除いて、身体拘束を行わないことを、契約時に保護者に説明しています。必要に応じて児童発達支援計画にも記載します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	西部療育センター 分園すてっが南庄		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 67
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 8日		～ 令和7年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	西部療育センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 西部療育センターと連携し、情報を共有しながら、児童発達支援センターの入園保留児の受入、幼稚園・保育園に通いながら療育を必要とする子どもの受け入れを行っている。 西部療育センターの心理師、ケースワーカー、訓練士等による保護者向けの学習会を実施している。 	西部療育センターで実施する職員研修等を受講し、職員の専門性を向上させ、増大する療育のニーズに対応する。
2	幼稚園、保育園との連携	幼稚園、保育園の母集団との連携を図れるよう、希望の園からの療育の見学を受け入れている。	保護者や、通園児、園の先生の困り感に応じ、連携を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携、情報共有	次年度の療育先や、他の事業所を併せて利用する子どもたちの施設との連携。	事業所間で、保護者支援や、子どもたちの特性について必要な支援の共通認識を持ち、支援内容についての情報共有を図る必要がある。
2			
3			